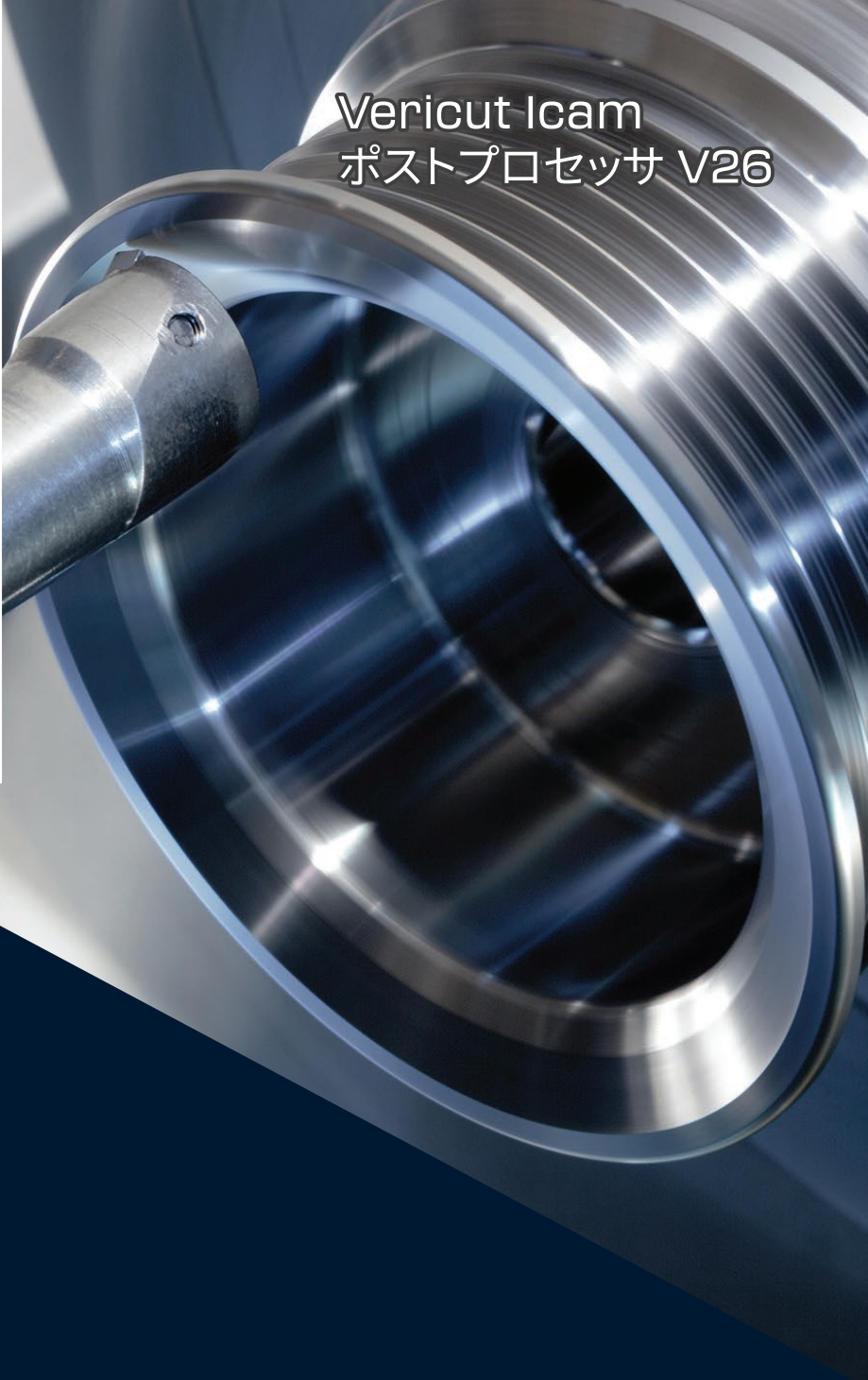




Vericut Icam
ポストプロセッサ V26

最新情報

Vericut Icam ポストプロセッサ V26



vericut.com/ja-jp/

回転軸の自動クランプ／アンクランプの改善

インデックス動作の前後における回転軸の自動クランプ／アンクランプを制御する新しいアルゴリズムが導入されました。全軸が同時に動作する加工では、自動クランプが自動的に無効化されるようにGENERが処理を行います。

また、必要に応じてマクロをカスタマイズできるよう、新たなシステム変数も追加されました。

さらに、各加工の開始時に先読みを行ってクランプ／アンクランプを自動処理する機能を有効にするため、QUESTのクランプセクションに新しい項目が追加されています。

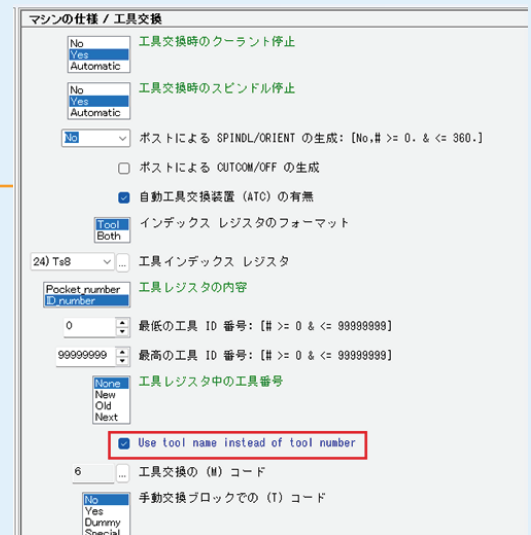


すべてのIcam製品における工具交換名のサポート強化

工具番号ではなく工具名を使用して工具交換コードを定義できるよう、QUESTの工具交換セクションに新しい項目が追加されました。この機能を使用する場合、特別な工具インデックスレジスタの設定が必要です。

QUESTでControl Emulator (CE) を設定する際にも、同様の設定によりNCプログラムから工具名を取得できます。REG_TOOLエイリアスを使用すれば、工具IDと工具名の両方に対応可能です。

このオプションによりVirtual Machine (VM) 上でも、工具名のみで定義された工具を正確に認識できます。



高速な情報先読みを可能にする新しいGENERマクロ関数

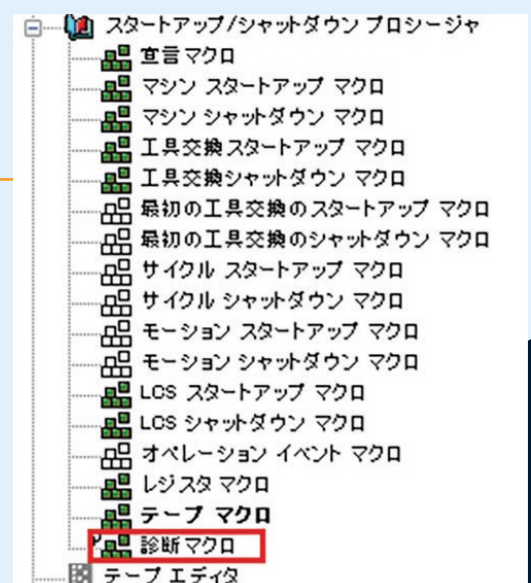
新しいマクロ関数 \$FCLINFO[] が追加されました。これは、今後のCL (カッター口ケーション) データに関する情報を取得するための関数で、従来の \$FINFO[] と似ていますが、選択的に先読みを行うことで処理速度が大幅に向上しています。

GENERとCERUN向けの新しい診断イベントマクロ

QUESTのポストプロセッサのスタートアップ／シャットダウンセクション、およびCEのイベントマクロセクションに、新しい診断用イベントマクロが追加されました。

このマクロは、ポストプロセッサやControl Emulator実行中に発生する診断 (メッセージ、警告、エラー、致命的エラー) を「検出」できます。Virtual Machine使用時には、Virtual Machine内で発生する診断も検出可能です。

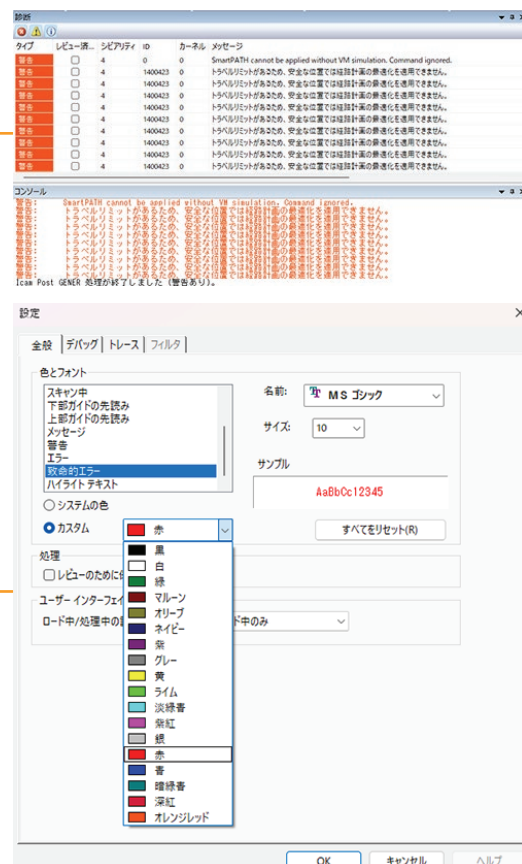
このマクロは診断が生成される前に実行され、エラーの重大度や番号、内容の変更、あるいは診断自体の無効化など、カスタム処理を行えます。また、発生回数の取得も可能です。



GENERとCERUNで診断の重大度に応じた色分けが可能に

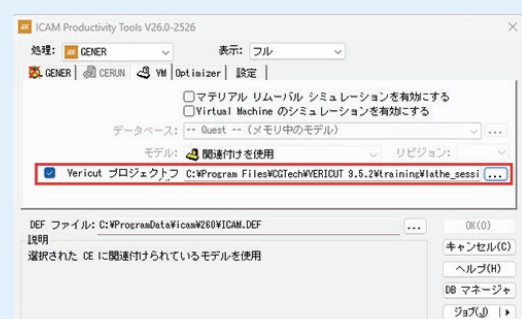
GENERとCERUNが出力する診断(メッセージ、警告、エラー、致命的エラー)は、それぞれ異なる色で表示されるようになりました。

これらの色は、GENERおよびCERUNの[ツール]→[設定]ダイアログで自由に変更できます。



Vericut プロジェクトファイルを活用した、機械リミット・工具長の参照 Icam ポストとVericutを併用しているユーザーは、GENERの起動パネルから既存のVericutプロジェクトファイルを参照できるようになりました。

これにより、補正値を取得してポスト処理時に反映させることで、工具長やストローク限界のより正確な算出が可能になります。

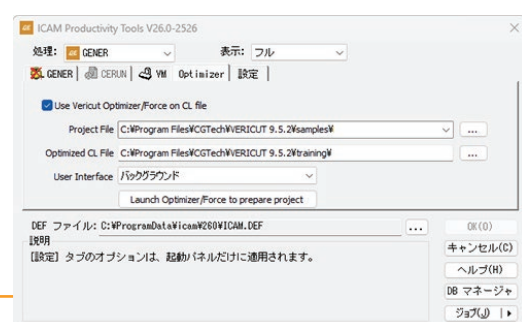


ポスト処理前の送り速度最適化 (Vericut オプティマイザー／Force対応)

Icam ポストとVericut オプティマイザー (VO) またはVericut Forceモジュールを併用している場合、ポスト処理前にCLデータ(Gコードではなく)に対して送り速度の最適化を行えるようになりました。

GENER起動パネルに新しく追加された「オプティマイザー」タブから、既存のVericut プロジェクトファイルを選択するか、ファイルがない場合はVericut オプティマイザーを起動できます。

最適化完了後、GENERは最適化済みのCLデータをポスト処理の入力として使用します。これにより、工程を大幅に簡素化でき、NCプログラムの後編集が制限されている現場でも運用可能になります。





GENERにおけるLCS/AUTOの改善

5軸加工における穴あけ処理など、複数の工具軸方向を持つ場合に、自動的に傾斜面コード (LCS) を生成するアルゴリズムが改善されました。

また、SmartPATH、パスプランニング、ロータリーターンアラウンド (RTA) といった最適化機能で生成された動作との連携も向上しています。

SmartPATHによる安全な進入・退避動作の計算改善

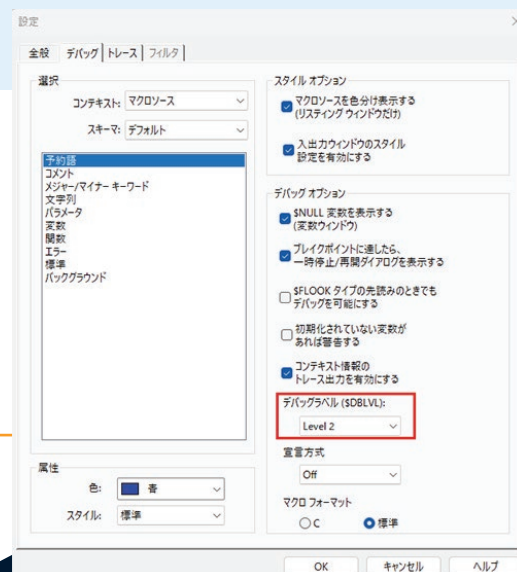
新しいSMARTPコマンド (SMARTP/SAFPOS) が追加され、工具交換位置や原点復帰位置におけるSmartPATH動作の開始／終了を制御できるようになりました。

これにより、工具の補正やStockへの安全なアプローチを支援する境界ジオメトリの定義が可能になり、安全性と精度が向上します。

GENERポスト処理中の多段階トレース機能の詳細化

GENERの[ツール]→[設定]ダイアログ内の[デバッグ]タブにあるマルチレベルトレースオプションが強化され、ポスト処理中のGENERの判断ロジックをより詳細に確認できるようになりました。

デバッグレベルを「Level 2」に設定すると、サイクル処理、円弧補間、ねじ切り、SmartCUT先読みなどに関する情報が出力されます。



加工ポテンシャルを 最大限に引き出ませんか？

今すぐ当社チームにご連絡いただき、
Icam ポストプロセッサの無料デモをご依頼ください。



株式会社CGTech
〒171-0021 東京都豊島区
西池袋1-5-3 エルグビル3F

Tel: (03) 5911-4688
Fax: (03) 5911-4689
info@cgtech.co.jp

システム要件は変更される場合があります。
最新の製品情報およびシステム要件については、Vericutのウェブサイトをご覧ください。
© Vericut 2025. 無断複写・転載を禁じます。VericutはCGTechの登録商標です。Printed in Japan.

vericut.com/ja-jp/